

第5回岩倉市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生
総合戦略検討委員会 議事録

日時：平成28年1月28日（木）14時00分～15時30分

場所：岩倉市役所7階第1委員会室

出席者

委員：千頭委員長、井上副委員長、村田委員、水越委員、加藤委員、櫻井委員、廣中委員、
宮川委員、田中委員、廣田委員、日比野委員

事務局：副市長、総務部長、秘書企画課長、小出、渡辺
加藤（地域問題研究所）

傍聴者：3名

1 開会

事務局

第5回岩倉市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会を開催させていただきます。

2 委員長あいさつ

千頭委員長

事務局からは、前回の委員会以降大きな変更点はなかったと聞いております。本日は、議題1の「パブリックコメント意見への対応について」以外の、2、3、4の議題についてはまとめてご説明いただき、これから何をしていくかといったことが重要なので、皆様方それぞれの立場で戦略を進めていく上でのご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) パブリックコメント意見への対応について

【資料1「パブリックコメント意見への対応について」を事務局より説明】

(2) 岩倉市人口ビジョン（案）について

(3) 岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

(4) 検証組織について

【資料2「岩倉市人口ビジョン（案）について」、資料3「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について」、資料4「検証組織について」を事務局よりまとめて説明】

委員長

2015年の国勢調査の速報値が届いていると思いますが、人口はどうなったでしょうか。

事務局

速報値の結果としては微増となっております。確定は先になると思いますが、それに基づき、修正も必要になってくると思います。

委員

(資料3：14 ページ—子育て支援) 指標の部分で子どもの数が減っているのに待機児童数は放置しておいてもなくなるものだと思いますので、これをもって事業の達成度を測る指標とするのはいかがなものかと考えます。指標の2つ目にある「放課後児童クラブの利用定員数」のようなもので測ることはできないのでしょうか。

事務局

従前では3歳からだったものが、0歳、1～2歳から預ける方が増えている現状があり、今後、低年齢への対応が必要との考えから、これを意識した指標ということになっています。

委員

(資料3：7 ページ—KPI「創業資金融資利子補給補助金申請件数」) 数値の根拠は分かりませんが、平成31年度に1件から3件というのは目標数値として妥当な件数なのでしょうか。また、商工会との兼ね合いを考えると、整合はとれるのでしょうか。

委員

商工会としても市と歩調を合わせる形で創業支援をひとつの柱としていますが、商工会の指標として、創業については創業支援件数、事業継承については事業継承支援件数としています。

支援ということで、若干ニュアンスが変わるかもしれませんが、商工会の指標では、単年度で最低この程度の件数になると思います。

事務局

ご指摘の3件という件数は単年度の件数で、5年間ということではありません。(資料3：7 ページ—具体的な施策・事業①番) また、施策・事業の「創業支援事業計画の策定及び推進」のところで、既存の制度で対象となった件数を整理する形で件数を挙げており、目標値も総合計画の目標値と整合をとる形で挙げさせていただいております。今後、この目標値を上回る数値に修正することもあり得ますが、現状では総合計画の目標値と大きく乖離した数値を掲げることはできませんので、担当課としても3件という目標値で考えております。

委員

KPIの数値は変更可能なのでしょうか。

事務局

可能です。

委員

戦略における目標値ですから、目標値が低すぎると戦略につなげることができないのではないかとといった不安があります。

委員長

本計画は毎年見直すということになっていることから、目標値も毎年見直すことになります。当初の目標値が達成されれば、さらに上方修正もあると思いますが、担当課のご意見も重要です。担当課と調整していただき、最終的には市が決めることになると思います。

委員

戦略づくりの段階が終わり、これから施策の実施段階へと入っていくわけですが、どうやって落とし込んでいくのか、実際にできるのかといった部分が重要になってくると思います。

(資料3：14 ページー施策の基本方針) 私共としましては、0歳児保育の拡大や保育園送迎ステーションの運営の部分でお手伝いできるものと考えております。

(資料3：10 ページー具体的な施策・事業) シティプロモーションについて、例えば、子育て支援のホームページで小手先の修正ではなく、ホームページをリニューアルしたり、チラシであれば近隣に配布するだけではなく、市外の主要駅に貼付する等、プロモーションが中途半端な形で終わらないようにしていただけたらと思います。

委員

(資料3：14 ページーKPI「放課後児童クラブの利用定員数」) 放課後児童クラブについては、非常にスピード感を持ってやっていただけるのだと感じます。また、働く者としては、子どもが夏休みなど長期休暇のときなどは大変助かります。

委員

(資料3：6 ページー具体的な施策・事業) 商工会の立場としては、商工会が策定する経営発達支援計画の推進支援ということで入れていただいておりますが、商工会が策定する計画は、小規模事業者支援を目的に平成28年度からの5年計画であり、現在、いかに商工会が支援できるかといったことについて、細部計画を検討中です。

他の支援同様、行政や商工会が単独では達成し得ないことから、地域が一体となって支援できる環境づくりは重要と考えます。商工会は、金融機関、行政と連携し岩倉市に貢献したいと考えております。本計画はこれから実施の段階に入りますが、地域の産業が活性化し、市の財政が潤うことで子育て支援をはじめとする支援が行われ、目標が達成されることが最良の流れだと思えます。

委員

これだけ多くの事業をやるとなると、重点をどこに置くか、優先順位をどうするかが大事になってくると思います。(資料3：8ページ-KPI) 指標で市内企業に就職した新卒者、既卒者の数で50人となっていますが、単に就職した数より継続して就業し、さらに結婚、定住している数のほうが重要ではないかと思います。

委員

地元金融機関として、ビジネスマッチングの取り組み等をやっておりますので、岩倉市の方が参加していただける形で進めていきたいと考えております。

事業は、何をいつ実施するのかといった具体的なものが提示されるべきであり、また、これら複数の事業を統括して進捗管理する部署も必要と考えます。

委員

総合戦略は民間と行政、さらには市民も加わって何に向かって、何を成すべきかということを示したのですが、これからは、大変な時代になるため、市民も一緒になってやっていかなくてはいけないのだということを気付かせてくれるものだと思います。

現在、若者と子育ての支援に関わる団体同士が何かあったら繋がろうという流れができつつあります。自身の活動では、就業していない若者や貧困家庭の子どもたちの受け皿となるべく模索しています。

委員

(資料3：18ページ-①地域防災力強化推進事業) 防災力推進事業ということで消防団への資機材の援助等とありますが、資機材だけではなく人材の確保についても支援いただけたらと思います。

(資料3：18ページ-KPI) 指標の防災訓練実施校数で、現在、4校となっていますが、1校はやっていないのですか。

事務局

校区により実施時期が異なり、それぞれの小学校で実施しています。東小学校だけは実施していませんでしたが、今年度(来月)から実施の予定です。

委員

弊社(日本郵便)でも高齢化が進んでいますが、人がなかなか集まらず、若い人が入ってもすぐ辞めてしまうという現状があります。(資料3：14ページ-⑤第3子以降学校給食無償化) 人を集め、根付かせるためには何か起爆剤が必要だと思います。例えば、子育て支援として、学校給食3人目以降無償化とありますが、3人目が生まれたら50万円を支給するなど、他市ではやっていないようなことを考えてみてはどうでしょうか。

委員

何からやるのか、どうやってやるのかが重要になってくると思いますが、やったことをやりっぱなしにしないことが一番重要だと思います。また、市民に対し何をやって、何が終わっていないかを周知することも必要だと思うので、継続的に情報発信していただきたいと思います。

委員

(資料2：22 ページー図表) 戦略的見地からすると住宅施策が重要であると思います。アンケート結果の現状分析中の転出理由に表れており、住宅施策を筆頭にそれに付随する形で子育てや防災といったことになるのだろうと思います。また、転入の理由に見られる賃貸住宅があって便利であるという岩倉の強みをさらに強化することは戦略的に重要だと考えます。戦略とは、資源をどこに投下するかということであり、先ほどの発言にもありましたように資源を集中投下することは重要と考えます。

委員長

民間、行政が総合戦略の趣旨に沿って行動する際、例えば、ロゴを使うなどして一丸となっ

て行っているといった雰囲気醸成することはよい事だと思います。
総合戦略を実施するに当たっては、戦略を持って進めなければ着実に進まないことから、例えば、庁内に総合戦略推進本部のような進行管理をする部署を設け、知恵を出し合えばよいと思います。

副市長

皆様のお陰をもちまして、このような立派な総合戦略ができました。皆様方のおっしゃるように、これからが大事です。皆様が協力してくださることが一番心強いと感じております。これからの進行管理、実践等あらゆる面で、皆で力を合わせてやっていきたいと思

います。
ホームページのリニューアル等、中途半端にならないようにとのご指摘がありましたが、投入する予算は有効に活用したいと考えております。

放課後児童クラブに関するご発言がありましたが、今後、小学校のほうにシフトしていくこととなります。

連携という言葉がありましたが、これからは一つの主体ではできないということがありますので、是非、連携を重ねていきたいと思

います。
重点をどこに置くかといったご発言がありました。対外的にはPRも必要ですが、転出による人口の流出を食い止めることも重要であり、これらに対しバランスよく取り組む必要があると考えます。シティプロモーション、住宅政策、企業立地は重点的に取り組むべきとの考えから、去年の4月、プロジェクト的な組織として、まちづくり担当の専門組織をつくりました。

金融機関としてできることを内容とするご発言がありましたが、いろいろとご相談させていただきたいと思

自ら積極的にやっていただいている旨の心強いお言葉をいただきました。是非とも、情報交換をしながら進めていきたいと思えます。

消防団に関するお話がありましたが、消防団員の確保は全国的な課題でもあり、国も力を入れていることでもありますので、きちっとした対応をとらせていただきます。

郵便局の職員の事例がありましたが、市職員でも言えることで、抜本的な対応が必要になると思えます。子育て支援などの起爆剤といったことに関しましては、市ができることといえば、お金のばらまきよりもサービス面と考えますので、庁内でアイデアを募りたいと思えます。

PRについてありましたが、また、お願いすることが出てくると思えます。

委員長からご指摘のあった組織については、今後、進めていく上で全庁的に対応すべき事柄も出てきますので、一度考えたいと思っております。

皆様からのご協力いただけるという言葉は大変ありがたく感じました。ありがとうございます。

4 その他

【最終会議の予定及び推進委員会について事務局より説明】

以上